

# さらに活力ある学校・家庭・地域をめざした取組へ

～ふるさと下関協育ネット「ほっちゃんや」の取組～

【下関市 長府中学校区】

## 地域の概要

長府中学校区には、仲哀天皇の行宮である「豊浦宮」の跡とされる「忌宮神社」、長府毛利藩の居城であった「串崎城跡」や高杉晋作が挙兵したいわゆる「回天義挙」の地「功山寺」などがあり、城下町としての面影を残しています。一方、海岸沿いには工場が立ち並び、近代的な要素もあります。

校区は広く、バスを利用して通学する小学生もいます。

人口	17,234 人	
世帯数	7,875 世帯	
対象校及び	長府中学校	468 人
児童生徒数	豊浦小学校	936 人

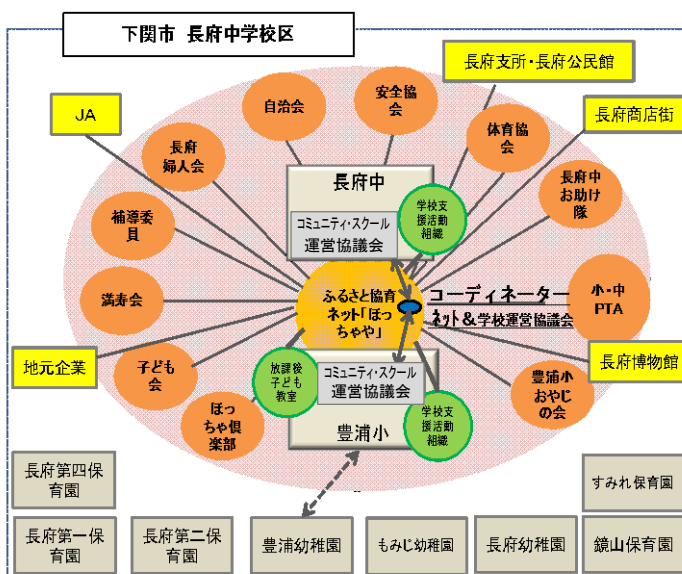
## 組織の内容

長府中学校区では、地域住民が小・中学校を支援するため、平成 20 年度に、長府地区学校支援地域本部事業に取り組み、「ほっちゃんや」を活動拠点として設置しました。平成 23 度からは、市の事業名が「ふるさと下関協育ネット事業」に変更されたことに伴い、「長府地区ふるさと協育ネット『ほっちゃんや』」として活動を継続しています。

「ほっちゃんや」では、活動の推進母体として地域教育協議会を設け、年 3 回協議会を開催しています。昨年度から両校がコミュニティ・スクールを立ち上げたことにより、コミュニティ・スクール運営協議会と連携し、学校応援団の担い手として、支援活動の計画立案や新たな活動の提案をしています。

これまで長府中学校と豊浦小学校に対する支援が確実に定着しており、新たな地域との連携による活動も始まるなど成長を続けています。平成 22 年度から放課後支援として小学生を対象に水曜日の放課後に実施している「ほっちゃん広場」では、地元の高校生もボランティアとして参加しており、新たな連携が取れるようになってきました。

また、支援ボランティア「ほっちゃんず」の有志による文化振興ボランティアサークル「ほっちゃん倶楽部」が中心となって、地域において子ども向けのイベントを開催したり、大人の演奏家を交えて子どもたちが出演するコンサートを開催したりするなど、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む体制が整ってきています。その他、学校と地域の双方向の取組、幼保・小・中間での取組、長府地域の他の小・中・高を交えての取組や学校と地域が協働した取組が行われるまでになりました。加えて、長府中学校の保護者とそのOB・OGとの有志によるボランティア団体「長府中おたすけ隊」と豊浦小学校の保護者と教職員の有志で構成されている「豊浦小おやじの会」は、地域の清掃活動やイベントの手伝いなどに積極的に参加するなど、地域の活性化に一役買っています。



ネット協議会の構成	学校関係者	9 名
	地域団体関係者	10 名
	P T A 関係者	2 名
	自治体関係者	1 名
コーディネーター数	3 名	
登録ボランティア数	315 名	

## 特色・重点的な取組

コミュニティ・スクールの活動として小・中合同で 12 月に実施した「防災訓練」に際しては「ほっちゃんや」も地域への呼びかけを行うなど積極的にかかわり、警察・消防、地域の各団体、企業が協力しての訓練となりました。その後、「長府地区の防災を考える」熟議が開催され、地域の特色を踏まえた防災体制の構築に向けて話し合いました。これらの取組を通して、小・中の連携、学校と地域との連携が広がり、より強固なものになっています。

また、「ほっちゃんや」による漢字検定の運営やバザーの開催等により、自主財源確保の取組も開始しています。

## 主な活動の紹介

### ○学校支援の様子

#### 【学習支援】



夏休み「真夏の勉強会」

#### 【学習支援&安全支援】



ふるさと探検学習

#### 【安全支援】



新入児の下校指導

※その他、小学校のダンス部に地域のインストラクター、中学校吹奏楽部に社会人サークルが指導に入りました。

両校のPTA主催バザーにも地域のボランティアが多数参加しました。

#### 【環境整備】



緑のカーテンづくり

#### ○他機関（JA長府）との連携



サツマイモの栽培

#### ○放課後子ども支援



ほっちゃ広場（水曜 15:00～16:30）

#### ○小・中の連携と学校・地域の連携



小・中合同「防災訓練」

#### ○学校と地域の協働



コンサート（長府中）

#### ○自主財源確保の活動



愛のバザール

## 成果と課題

支援活動は5年間の活動が確実に定着しています。今年度からの新しい取組として、長府中において「真夏の勉強会」「模擬面接」が始まりました。「真夏の勉強会」では、長府中学校を卒業した大学生が参加し、中学生と大学生の交流の場にもなりました。今後の課題としては、自主財源の安定的な確保のために協議会において知恵を出し合い、方策を考えることです。



「ほっちゃや」のロゴマーク

## 今後の取組

今後は、学校と地域がそれぞれの思いを共有し、積極的に協働していくことが重要になります。そのことにより、子どもが育つ場である学校・家庭・地域が元気で活力のあるものになると思います。そのために、「ほっちゃや」はこれまでの活動の着実な継続に加えて、学校と地域のスムーズな連携や取組のためのパイプ役としても積極的に活動していきたいと考えています。